

会 議 名	第1回港区立みなと芸術センター指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年5月13日（月曜日）午後7時から午後8時30分まで
開 催 場 所	オンライン、産業・地域振興支援部会議室（港区役所本庁舎3階）
委 員	出席者 7名 岸委員長、山本副委員長、石田委員、小泉委員、田中委員、堀内委員、大澤委員 欠席者 なし
事 務 局	国際化・文化芸術担当、地域振興課みなと芸術センター整備担当
会 議 次 第	1 開会・挨拶 2 委員委嘱 3 委員紹介 4 委員長選出 5 議題 議題1 公募要項（案）について 議題2 第一次及び第二次選考基準（案）について 6 今後のスケジュール 7 閉会
配 付 資 料	資料1 港区立みなと芸術センター指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項一式（案） 資料4 公募要項【様式集】（案） 資料5 業務基準書一式（案） 資料6 業務仕様書一式（案） 資料7 第一次審査 選考基準・採点表（案） 資料8 第二次審査 選考基準・採点表（案） 資料9 今後のスケジュール 参考資料1 施設概要（港区立みなと芸術センター 平面図、断面図） 参考資料2 港区立みなと芸術センター条例
会議の内容	
A委員 全委員	【1 開会・挨拶】 【2 委員委嘱】 【3 委員紹介】 【4 委員長選出】 ・委員長の互選について 委員長は岸委員にお願いしたいと思うが、いかがか。 <異議なし>
委員長 全委員	・副委員長の選出について 設置要綱に基づき、教育委員会事務局教育推進部長を充てることとする。 <了承>

	岸委員長、山本副委員長が選出され、岸委員長が以後の議事を進行。
	【5 議題 議題1 公募要項（案）について 議題2 第一次及び第二次選考基準（案）について】
委員長 事務局	議題1及び議題2は一括して審議する。 （資料3～8について説明）
B委員	10年近い指定期間があるので、長期的に取り組んでいただきたいと考えているが、昨今、賃上げの動き等もあり、社会的に賃金水準が大きく変わっている。10年先の賃金水準が読めない中で、賃金スライド等の考えはあるか。
事務局	一時的な物価変動は、区が金額提示するもの以外は、見込んで提案することになる。ただし、昨今のウクライナ情勢など光熱水費の急激な高騰、災害など、通常の物価上昇と違う想定外のものが生じた場合については、区と協議となる。
C委員	資料3公募要項別紙2の見方について。自主制作は3週間あって、1週間単位で演劇、舞踊、音楽でいいのか。貸館に重きを置いている印象である。自主制作を増やすことは難しいか。
事務局	概ね演劇、舞踊、音楽で3週間、という想定である。あくまでスケジュールのイメージであり、ある程度増減することは問題ないと考えている。
C委員	音楽のひとつの公演でも、リハーサルなどもあり、自主制作の日数が少ない印象を受けた。
事務局	公募要項別紙2では、指定期間の2年目について記載をしている。公募要項別紙1にあるとおり、段階的に事業数を増やしていくので、年度が進むにつれて、自主制作の数も増えていく予定である。
C委員	普通は主催事業によって、どんな劇場かを示すものである。貸館事業が多い中でどんな劇場かを示していくのかは難しい印象がある。
D委員	貸出と主催事業をこのボリューム感にした根拠は何か。ある程度のバランスになることは分かるが、ここまで具体的に記載することは珍しい。事業者へ、貸館がメインとなるような、間違ったメッセージとして伝わるおそれがある。
事務局	施設の位置付けを考えたとき、研究や自主制作しかやらないのか、という意見もあった。貸館がメインだという誤発信に繋がりがねないというご意見を踏まえ、表現については事務局で整理したい。
B委員	このイメージに事業者はどれだけ拘束されるのか。このイメージから外れた提案を受けたが素晴らしい提案をした場合は、高得点を付けることが可能か。

事務局	これはあくまでイメージなので、拘束力を帯びるものではない。応募事業者、選考委員の双方に誤解を与えないように修正する。
E委員	このイメージは、メッセージが強すぎないだろうか。これに基づいて審査をすることには抵抗がある。 プロの興行の収支をどう考えたらいいか。また、公募要項の1ページから29ページまでの中で読み取れる以上の情報が、この別紙2で与えられたように感じられ、港区の劇場のイメージとなってしまっておそれがあるので検討してほしい。 演劇、舞踊、音楽など様々なジャンルが可能な機能や音響は確保されているのか。
事務局	演劇、舞踊、音楽に対応した設備が備えられている。
B委員	音楽はどのジャンルを想定しているか。
事務局	クラシック等含め全てのジャンルを想定している。
E委員	コンサートホリゾントはあるか。
事務局	音響反射板がある。
A委員	資料3の16ページの公募説明会について。公募要項等が公表された翌週の説明会に来ないと応募できないという意味合いか。
事務局	意図と記載を再度確認して誤解がないように修正する。
A委員	資料7の採点表について、安全対策を重視しているのはよく分かったが、第一次審査の加点の係数が高く、第二次審査での加点の係数が低い。この点に矛盾はないか。
事務局	確かに第二次審査の係数は下がっているが、第一次でも第二次でも審査項目にすることで、区として安全対策を重視し、その評価を担保している。 公募説明会について補足すると、施設の図面を配付するので、公募説明会への出席は必須にすることを考えている。
B委員	公募要項等が公表されてから公募説明会まで一週間しかないので告知を工夫してほしい。
A委員	図面を渡すというだけで公募説明会の出席を求め、出席しなかった者がその後の手続に入っていけないとなると後々のトラブルを招きかねない。
事務局	説明会への出席を義務とするかどうか整理する。

F委員	<p>主催事業と貸出事業のバランスが難しいと感じる。貸館は、区民の参加にも配慮したメッセージであり、それは重要ではあると思う一方、管理運営計画でも、施設の主体性や、人材育成、研究等を重視していると位置付けている。また、貸館が多いのであれば指定管理料を削減してもいいのではないかという議論に繋がりがねないことを懸念している。みなと芸術センターが「先導的な文化施設」であるという位置付けは失わない方がよい。</p> <p>資料7の採点表について。組織体制について、提案した団体が十分な経験があるのか、というのは大きいと思う。知見やノウハウ、ネットワークなどが十分か勘案しながら、採点し、評価するようにはできないか。</p>
事務局	<p>公募要項別紙2については、これまでの議論や施設の理念も含め再考する。</p> <p>採点表については、知見やノウハウ、ネットワークが明確に評価できるよう検討し、表現を工夫する。</p>
D委員	<p>舞台設備等の具体的な仕様についての資料を事業者に渡さないと、高機能であることが周知されず、十分にオペレートできずにコストを下げた提案となる可能性がある。設備の機能に見合った人員配置をする必要があることから、設備の概要等について情報を与え、提案書を書くようにした方がよい。</p>
事務局	<p>設備の機能が提案者に伝わるような資料（図面）を渡すように調整する。</p>
E委員	<p>公募説明会については、どういった事業者が手を挙げるかを確認する意図があるということではないか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりである。</p>
C委員	<p>今回公募となったことで、区民参画を全面に打ち出したのではないかと感じた。公募要項別紙2は、区民の参画イコール貸館という誤解を与えかねない上に、みなと芸術センターは「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」に基づく施設という説明と矛盾が生じるのではないか。</p>
G委員	<p>区民参画といっても、既存の区民センターとは違う点がある。提案様式についてもその点が伝わるよう再考をお願いしたい。様式25について、貸館事業として公演や区民の自主活動などとのバランスをとり、区民が積極的に活用できる工夫が分かるように記載してほしい。</p>
事務局	<p>意見を踏まえて、資料を修正する。</p>
F委員	<p>管理運営計画の12ページや文化芸術振興プランの61ページにある「区民の主な関わり方」にもあるように、「出演する」や「体験する」といった貸館以外の区民参画もあるので、参考にしていただきたい。</p>

E委員	公募要項別紙2と業務基準書の項番4(2)が矛盾している印象がある。業務基準書に書いてあることが、貸館が多くて達成できるのかという疑問を持つ。
D委員	この施設の強みは、快適で使いやすい設備が備わっていることにある。スタジオがこれだけの数備わっており、施設の価値は、スタジオが区民やプロに十分活用されてはじめて高まると考える。そういう施設の構成になっていることの視点が薄いように感じる。
事務局	施設の特長として、強みがうまく表現されるよう工夫する。
委員長	いただいた意見を踏まえ資料を修正することとし、本案を決定してよろしいか。修正した資料については、本委員長含め委員全員に、後日送付する。
全委員	<了承>
	【6 今後のスケジュール】
	【7 閉会】
委員長	本日の委員会は以上をもって閉会する。

※委員長における質疑や講評等に関する発言については、「委員」として表記しています。

会議名	第2回港区立みなと芸術センター指定管理者候補者選考委員会
開催日時	令和6年11月11日(月曜日)午後7時から午後9時15分まで
開催場所	オンライン、産業・地域振興支援部会議室(港区役所本庁舎3階)
委員	出席者 7名 岸委員長、山本副委員長、石田委員、小泉委員、田中委員、堀内委員、新宮委員 欠席者 なし
事務局	国際化・文化芸術担当、地域振興課みなと芸術センター整備担当
会議次第	1 開会 2 財務状況等分析結果の報告 3 議題 議題1 第一次審査通過事業者の決定について 議題2 第二次審査基準について(プレゼンテーションについて) 4 今後のスケジュール 5 閉会
配付資料	資料1 財務状況等分析報告書 資料2 資金計画分析報告書 資料3 第一次審査(書類審査)採点集計表 資料4 第二次審査 選考基準・採点表 資料5 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)の実施について(案) 資料6 第1回港区立みなと芸術センター指定管理者候補者選考委員会会議録
会議の内容	
公認会計士	【1 開会】 【2 財務状況等分析結果の報告】 財務状況等分析は、共同事業体の構成事業者を含めた13事業者全て「可」の評価であるが、資金計画分析については、A・B・D事業者は「A」評価、C事業者は「B」評価となった。C事業者が「B」評価の理由は、その他経費の割合が指定管理料の15%以下なら標準とみるが、A事業者が12%、B事業者が9%、D事業者が8%に対して、C事業者は24%とかなり大きく、根拠が明確でないためである。
委員長	【3 議題 議題1 第一次審査通過事業者の決定について】 応募事業者について、委員から講評をいただき審議ののち第一次審査の評価点を確定する。まずA事業者の講評をお願いしたい。
A委員	経験不足が明らか。区として初めての施設の管理運営をお任せするのは厳しいのではないかと。ただ、資金計画は積算根拠が区の試算に沿ったものになっているため高い点を付けたが、基本は平均以下の点数を付けた。
G委員	専門性のなさが致命的ではないか。文化芸術の施設運営の経験がなく、事業計画の内容についても具体的なものがない。
E委員	経験不足からなのか、提案内容が十分に書き込まれていない部分が見られた。1点と

	<p>いう本来は付けにくい点数をいくつか付けている。</p>
F 委員	<p>地域貢献の部分で独自の提案が認められる部分はあるが、みなと芸術センターの規模に見合った内容を推進するのは難しいというところが一番大きな減点材料である。</p>
C 委員	<p>求められたことについて答えられてない提案書になっている。</p>
D 委員	<p>能力、知見及び必要なネットワークのいずれにおいても明らかに十分ではない。経費見積りで、事業に対してではなく施設内のスペースに対して費用を見ているところからも、適正ではないと思い非常に厳しい点を付けた。</p>
B 委員	<p>専門家の活用という部分で、映画を中心に展開されているというところもあり全体的には低い点数を付けざるを得なかった。</p>
委員長	<p>2（1）資金・収支計画について、D委員とA委員の点数に差があるので、確認させていただきたい。</p>
D 委員	<p>事業経費の考え方を諸室ごとに示しており、本施設で展開する事業に応じた積算ではないという点に疑義があり、このような点数とした。</p>
A 委員	<p>区の概算に沿った形での事業規模になっている点を評価したが、他の委員の意見を伺う中で評価を4から3に修正し、加点後の点数を6点としたい。</p>
委員長 全委員	<p>各委員から説明いただいたが、他の委員で点数を変更したい方はいるか。 〈なし〉</p>
委員長	<p>特になければA事業者の講評を終了する。 B、C、D事業者については、得点の差が少ないので、各審査項目に沿って講評いただきたい。</p>
F 委員	<p>・項番2（1）資金・収支計画について B事業者は、基本的に区の管理運営計画と整合性が取れている事業者である。また、再委託業務についてアウトソーシング先の適正性や特色を踏まえた詳細な計画が練られている。芸術文化の領域で、景気の変動等何が起こるか分からない状況下で、ある程度リスク分散させるということも重要であり、それぞれの観点や特性に沿っている計画であることを踏まえ、全体として非常にバランスが取れていると高く評価した。一方で、C事業者は指定期間の後半に20億円以上の支出計画があり、かなり規模が大きい。D事業者はアウトソーシング先が一括管理となっているところがあり、効果的で効率的とも言えるが、経費の高騰や、きめ細かな対応でリスクが生じると考える。</p>
E 委員	<p>C事業者は、資金・収支計画における事業規模が区の概算以上に増えていくが、問題</p>

	ないか。
事務局	区の管理運営計画では、収支の想定金額を概ね10億円と想定している。おっしゃるとおりC事業者については非常に金額が大きいですが、その提案をいただいた時点で即、問題があるというようなことはない。ただ、金額に対する根拠等については事業者を確認していく必要がある。
C委員	先ほどの財務状況等分析において、その他経費が高額な点の指摘があったが、そこは見逃していた。C事業者については、比較的高い点数を付けているが、そこも分析結果に合わせた評価とした方がよいか。
事務局	その他経費に関する財務状況等分析結果については、資金・収支計画の一部なので関係するが、各委員の採点を分析結果と同一にする必要までではなく、この結果を含めて総合的に判断いただければと思う。
C委員	承知した。点数はこのままとしたい。
D委員	・項番2(2)受託経費について 再委託業務において、C事業者だけ舞台設備の運営を委託するという項目の記載がなかった。全て常駐のスタッフで行うとすれば、施設の大きさからして現実的ではないだろう。B・D事業者は少なくともはっきりその部分書かれているがC事業者にはその部分がないので、これは劇場運営としては不適切な想定と考える。B事業者が特に細かくブレイクダウンして書かれていると思ったが、それ以外の部分では基本的にさほど大きな差はないのではないかと思う。
E委員	指摘は理にかなっていると思う。おっしゃるとおり不適切かと思った。今の議論を踏まえ、C事業者について、評価を4から1に変更し、加点後の点数を2点とする。
C委員	C事業者の様式16を見ると舞台機構部門で常勤が6人いるため、私は他の事業者と遜色ないと思い、4点×2で8点になっている。舞台技術が6人というのは、この規模では難しいか。
D委員	例えば、B事業者の舞台技術の常勤スタッフはリーダー含め9名となっており、さらにその他に、舞台技術業務委託を設けている。C事業者の舞台技術のメンバーの数だと、全てを賄えないだろうと判断できると思う。
C委員	C事業者について、評価を4から3に変更し、加点後6点としたい。
委員長	それでは、E委員の8点を2点、C委員の8点を6点に修正する。
F委員	・項番3文化芸術の拠点としての理念等について C事業者は、例えば映像技術の活用や、いわゆるデータマーケティングの導入等の部

	<p>分で非常に革新性が見られるという点を評価した。一方で、みなと芸術センターの、誰一人取り残さない共生社会の実現に向けた理念を具現化するための部分では、福祉や教育等の視点での具体性が少ないと考えた。さらに、区が取り組む事業は民間の事業とは異なる部分が要求されると考えているため、公共施設の理念として十分かという点から低めの点数を付けた。</p>
A委員	<p>C事業者は、「区民が主人公」や、「区民が育つ」というように、区民のための施設であることが明確であり、高齢者、障害者の育成、さらに、在勤者への配慮の記述もあり、全体でよく目配せがされているという印象である。加えて、その熱量の高さを評価した。</p>
F委員	<p>A委員の発言の趣旨も理解でき、各委員の評価の重きを置いたところの違いだと思うので、バランスを取って点数は適正なのではないかと考える。</p>
委員長 全委員	<p>この項目については各委員の採点のとおりで進めるがいかがか。 〈異議なし〉</p>
D委員	<p>・項番4（1）施設運営に関する基本的考え方等について B事業者は、業務の実情を理解し、具体的な内容をしっかり踏まえた記載をしていると思う。非常に安心感のある印象である。</p>
C委員	<p>バランスが取れているということや、区との色々な繋がりをきちんと書かれているので、B事業者の提案は実現性があると評価した。</p>
C委員	<p>・項番4（2）職員体制の考え方について B事業者は、常勤スタッフをきちんと用意する姿勢が伝わってきた点を高く評価した。</p>
E委員	<p>・項番4（3）職員配置やローテーションの考え方について D事業者は、ローテーション表の提出がないため、1点の評価とした。</p>
D委員	<p>私も同様の考え方である。</p>
F委員	<p>このD事業者の提案全体の中で、相対的に見ると低めにつけている項目である。ローテーション表未提出のほか、教育研究機能などの部分が十分とは言いがたいと感じており、長期的に芸術文化の公共性を保っていくためには若干不安がある。総合的に見たときに、他の項目とのバランスの中で、この3点はプラスの加点要素がないという判断である。</p>
A委員	<p>ローテーション表は今後の審査で重要な点なので、改めて事業者に対し、この部分の追加資料の提出を求めるのはいかがか。</p>

委員長	第二次審査に進んだ場合、期日までにローテーション表の提出をお願いする。
D委員	<p>・項番4（4）施設長予定者について</p> <p>B事業者は、これまでも文化施設の開館業務を二度経験しており、極めて大きなアドバンテージだと考えた。</p> <p>C事業者は経験豊富だが、みなと芸術センターの類似施設とはとても言いがたい施設の経験が多く、求められる業務を想像したときにかなり不安の部分の方が大きい。</p> <p>D事業者は、非常に経験豊富な方だが、施設のトップとしては未知数である。事業の内容について熱意をもって言及しているが、その部分と施設運営の長を担っていくということとはイコールではないし、逆に両立しないとも言える。経験やネットワークは非常に確かなものがあるのでこの点数とした。</p>
B委員	非常に同感である。D事業者は、公演制作等については非常にネットワークや経験が豊富だとは思いますが、そのことと施設を管理運営していくということや法人としてそれを取りまとめるというのは、スキルとして異なる部分がある。
F委員	D事業者の施設長は、公演に関しては非常に信頼感があると感じた。一方でダイバーシティいうところを見ると、いわゆる従来の上演型の公演が主で、社会包摂型のソーシャルインクルージョンの形での事業等は若干少ないという印象がある。「誰一人取り残さない」というところをどう考えるかにもよるが、上演型だけではなく、社会福祉の観点からいわゆる社会的弱者の方々も含めた様々なダイバーシティの方々も協働していく部分で、相対的に見たときに、B事業者よりもD事業者の点数が伸びなかった。
G委員	C事業者だが、施設の立ち上げの経験が体育館というところも不安要素である。また、開館時に66歳で10年後だと76歳になる。脂が乗っている時期とも言えるかもしれないが、これだけの規模の施設の立ち上げというと、熱意や体力といったものが必要になり若干の不安材料ではないかと考えた。
F委員	C事業者は施設長が非常勤での雇用となっており、名誉職というような形になってしまふところが懸念された。
F委員	<p>・項番4（5）専門人材の確保及び育成の考え方について</p> <p>C事業者について、人材の確保の見通しは認められるが、専門人材を、どこまでグループ内から人材登用していけるのかを考えたときに、この施設に求められる人材の確保ができるのかというところで若干マイナスの点数を付けた。</p>
C委員	私は、意欲があると受け取った。インターンをきちんと育て、区民ボランティアも含めて登用し新たな人材を配置するところに、希望が持てる。人材育成のための各種講座を開催し、専門人材の育成に全力で取り組む姿勢が見られる。今、業界の中でも若手が入ってこなくなり、人手不足になっている中で、強いメッセージになるのではないかと思います点数を高く付けた。

委員長	4（5）は、C事業者について、F委員とC委員の評価が、それぞれ得点が4点、10点と差がある。両委員いかがか。
F委員	インターンがどこまで現場で活躍できるところまで育つのか、この体制で専門人材が確保されていくのかという点を踏まえて総合的に考え、この全体計画の中でこれが果たして適正かつ現実的かというところが懸念されるため、この点数で進めたい。
C委員	本当にこの仕組みがうまくいき業界全体として良い人材を育てられるといいという希望を込めて、評価は割れるがこの点数を付けたいと思う。
A委員	参考までに各委員にお聞きできればというところだが、世田谷パブリックシアターでは芸術監督を設置していると思う。今回の提案ではいずれも芸術監督の提案はないが、必要性についてどう考えられるのかを伺いたい。
C委員	規模の大きな施設では、芸術監督という施設の顔になる方がいて、人事権まで掌握し企画を発信することができれば、理想的な姿だと思う。しかし、みなと芸術センターの規模の劇場でそれを求めるのは、現実的ではないと思う。芸術監督が顔だけになってしまっている施設もあり、一人の芸術監督がこの劇場で監督をした後に次の劇場でまた監督をする、というような状況もある。無理に有名な芸術家を置くことが必ずしも必要なことだとは思わない。
D委員	<p>「レシーピングパブリックシアター」ではなく、「プロデュースパブリックシアター」である以上は、芸術監督又は芸術監督の役割を持つ人間がおり施設を運営することは必要と考える。また、設置者や運営者がそのような共通理解を持つような社会になっていくべきだと考える。しかし、その共通理解が十分にできておらず、人事権や予算執行権を持つ方もほとんどいない。そうした権限を持っていないとしても、芸術監督は、芸術的な方向性、指針を劇場の責任者等に対して提案をし、それが意思決定されれば、先頭に立ってその実現のためにアーティストと直接対話をするこもあれば、具体的な公演の案を出すこもある。その施設の社会における役割をどう捉えていくべきなのかを考え、それも含めて、施設、団体、施設長、組織に対して提案をしていく役割だと思う。そして、施設のブランディングについても提案をしていくような存在である。現在、様々な文化施設において、芸術監督がどうあるべきなのかということを試行錯誤しながら進んでいる。</p> <p>B事業者は、プログラムディレクターが、みなと芸術センターを芸術面で牽引するプロフェッショナルとして、芸術監督の役割の大きな部分を担うことを想定して提案されているように見える。これは、D事業者の施設長予定者が強いプロデュース能力を持っているということとは違う意味を持っている。また、単にお客さんが入る作品をプロデュースするような、まさに宣伝塔になる方を連れてくるということが芸術監督の役割という訳ではないこも付け加えたい。</p> <p>・項番5（1）公演等の事業計画について</p>

B委員	<p>B・C事業者とも、全体に目配りが効いたラインナップになっているが、C事業者に関しては、少し具体性を欠いているところがあり、低い点数となった。</p> <p>・項番5（2）普及啓発等について</p>
B委員	<p>D事業者は、この項目に限らずかなり盛りだくさんな形で書いているが、それが堅実性に欠け、盛り込みすぎというような印象を受けたところがあり、実現性が担保されているのかをはかりがたい。</p> <p>・項番5（3）国際的な交流について</p>
B委員	<p>オリジナルコンテンツを世界へ発信するというC事業者の提案については、一定の費用もかかり、区費を投入して本当に海外公演をやる必要があるのか非常に疑問に思う。また、D事業者の、世界のトップアーティストを招へいする提案については、そうそうたる演出家の名前が列挙されており、実現すれば素晴らしいと思うが、一定の持ち出しも含めた上で、全体的に実現可能性が不透明な部分を感じられたので、点数を低くした。</p>
D委員	<p>C事業者は、名前は書かれているけれども、どれだけ現実に結びついていくのかというところにかなり疑問を持った。</p> <p>D事業者も似たような感触だが、これは、施設長予定者が具体的なコネクションをお持ちのアーティストが書かれているということで、少し点を高くし、他はB委員と概ね印象としては同じように感じた。</p>
C委員	<p>具体的に名前を書くということは、そのコネクションがあって、実現性があるものと判断すれば、見てみたいものになるだろう。また、こういった国際交流の在り方を見てみたい。</p> <p>B事業者はそれに比べると少し地味な印象で、例えば国際舞台芸術祭を毎年開催すると書いてあるが、その内容として具体的なアーティストの名前はなかった。ただ、堅実なところで、ヨーロッパの有名な劇団などではなく、アジア圏の劇場との連携というのは、目のつけどころとしては面白いと思い、評価できる。</p>
委員長	<p>様々な意見、様々な角度からのご意見をいただいている。それぞれの委員の評価なので、無理に点数を変えることはせず、プレゼンテーションできちんと実現性について確認することとする。</p> <p>・項番5（4）芸術に係る調査研究について</p>
B委員	<p>B事業者は、堅実な計画が具体的に記述されている。外部の専門機関等との連携、調査研究ということで具体的に挙げた上で、慶応義塾大学アートセンターや早稲田大学演劇博物館というような、それぞれ多様な方法で取り組まれていることなども記述されており、高い点数を付けた。</p> <p>・項番5（5）共生社会の実現について</p>
D委員	<p>C事業者は、何をではなく、どこということばかりが記載され、少し見栄えがいいよ</p>

	うに書かれたなというような印象でこのような点数になった。
C委員	C事業者は、地域の様々な団体が書かれているので、具体性がある、きちんと調べた上で何ができるかということが考えられている、と判断した。
委員長	5（5）についても、C事業者について、点の開きがあるため、各委員のご意見を伺ったが、特に委員の方から修正がなければこのままの点数とする。
G委員	<p>・項番5（6）区民との協働等について</p> <p>B事業者は、基本的な考え方として、区民協働やラーニング事業、人材育成として様々な取組を考えており、区民と区が協働し、あらゆる人たちを巻き込んでいく計画であると感じた。</p> <p>D事業者は、様々な団体と連携して事業展開するということだが、もう一步、地域に出て、協働というイメージには結びつかない内容というところがあり点数は少し低くなった。</p>
B委員	特にB事業者が、この区民協働事業、ラーニング事業、人材育成事業として、更にそこから各具体的な事業を記載しているということで、全体のバランスも含め判断した。
D委員	<p>・項番5（7）貸出事業について</p> <p>C事業者の提案は、どういった事業者にどういう形のサービスを提供すれば、よりその施設の価値が上がる事業が行っていいのかというところの想定、想像にやや欠けるという印象を持った。</p>
F委員	<p>B・D事業者とC事業者で、全く違う角度から書いている印象を受けた。</p> <p>B・D事業者はどちらかという、手続等も含めて具体的に書かれている。今、D委員が言ったように、具体的なイメージが湧きやすいというところでいずれも5点を付けた。</p> <p>C事業者は、主催事業とのバランスというところを考えており、審査基準が「スケジュール等はバランスを踏まえ」というような文言もあったので、その点ではC事業者を評価した。</p> <p>両面重要だということで、5点をいずれも付けたということである。</p>
D委員	今ご指摘の視点を伺い、非常に明快に整理をしていただいた。C事業者の点数について、私の評価を2から3に変更させていただきたい。
委員長	では、今のD委員の変更の申し出のとおり修正する。
委員長	以降の項番5（8）～（10）及び項番6（1）（2）については、各委員点差に大きな開きがなかったため、まとめて講評がある場合は確認をさせていただきたいが、意見等あるか。

全委員	〈特に意見なし〉
D委員	<p>・項番6（3）法令遵守等について</p> <p>D事業者について、現在、劇場運営や芸術の世界で非常に大きな課題になっているハラスメントに対して、どういう姿勢で、どういう問題意識を持っているのかという点を書いてほしかった。その部分がなく、現場を実際に運営するという感覚として、本当に大丈夫だろうかというようなところもあり、こういう点数になった。</p>
C委員	<p>どの事業者も、コンプライアンスに関して、それぞれが項目ごとに考えていると思った。確かにD委員が指摘したハラスメントに関しては、芸術業界の中で、特にこれからの課題だという認識はある。ハラスメントについての考え方は、プレゼンテーションで質問して判断したい。</p>
委員長	<p>今回、計画書類の中で具体的にハラスメントの記載を求めることを明記していないこともあるため、D事業者の点数はこのままとし、次回のプレゼンテーションの際には、そういった視点でも各委員に審査をお願いしたい。</p>
D委員	<p>・項番7その他について</p> <p>C事業者について、法定雇用率の達成見込みの記載がない。</p>
C委員	<p>具体的な取組については書かれ、B・C事業者ともあまり遜色がないと思う。D事業者はそれに比べると少し具体性に欠ける印象を受けた。</p>
委員長	<p>こちらについてもC事業者に点差があるが、各委員の意見を踏まえて、修正等がなければこの点数のまま修正なしということでもいいか。</p>
全委員	〈異議なし〉
委員長	<p>その他、採点内容について質問、確認等はあるか。</p>
G委員	<p>資金・収支計画について、財務状況等分析でも、C事業者が本部経費として人件費と事業運営費の合計の15%が見込まれている根拠が十分でないといった指摘があったほか、その他の事業者でも、根拠が十分示されていないようなところがあるかと思うので、事業者に補足資料を出していただきたい。例えば、C事業者は、先ほど他の委員もいったように、令和18年度の指定管理料が約18億円と、区が管理運営計画で見込んでいるものをかなり上回っている。また、事業経費も高額で事業運営費が約8億円である。提案内容が、この指定管理料を出さないと実現できないというようなものになってしまうのではないかという心配もある。</p> <p>D事業者は、事業運営費はC事業者と同じぐらいの金額だが、こちらは事業収入がかなり高く、約6億円近く計上されていて、本当にこの事業収入が得られて、計画どおり事業が運営できるのかと懸念がある。</p> <p>このあたりはしっかり確認したいので、あらかじめ事業者に質問として投げかけておいた方がよいかと思うがいかがか。</p>

委員長	第二次審査に進む事業者については、追加で経費の積算根拠を求めたい。また、チケット代の設定など、具体的な提案が示されていないため、収入根拠についても追加資料として求め、プレゼンテーションで説明を求めることが必要と考えている。そのように事務局で対応してよいか。
全委員	〈異議なし〉
委員長	では、事務局より改めて点数の発表をお願いします。
事務局	最終的な点数は、A事業者が564点、B事業者が1,137点、C事業者が980点、D事業者が987点である。
委員長	第一次審査の採点表を確定する。第一次審査通過事業者は、得点が満点の60%以上の事業者となるため、第二次審査に進むのは、B・C・D事業者であるがどうか。
全委員	〈異議なし〉
事務局	【3 議題 議題2 第二次審査基準について（プレゼンテーションについて）】 資料4及び資料5について説明
委員長	最初に、プレゼンテーションの方法について、パソコンを使用、紙を使用、又は業者の自由のいずれかとするかについて意見をいただきたい。
A委員	事業者に一任し、そのやり方を評価材料にすればいいと思う。
F委員	パソコン利用のみだと手元資料として確認ができないので、手元資料もほしい。映写する内容をA4サイズで用意し、それ以外は自由でいいのではないかな。
委員長	それでは、事業者の自由とするが、プレゼンテーションでディスプレイを使用する場合は紙資料も用意してもらおうということでもいいかな。
全委員	〈異議なし〉
委員長	次に、プレゼンテーションの条件として事業者の出席数や時間配分について意見があればお願いしたい。事務局案はプレゼンテーション10分、ヒアリングを委員1人あたり2分程度で計15分である。特に異議がなければこの内容で進めたいと思うがどうか。
全委員	〈異議なし〉
委員長	最後に、追加要望資料の有無について意見があればお願いしたい。今回提出された提案書の中で、追加で資料を出してもらいたい内容や様式の指定等、先ほどの審議で出た内容以外で何かあるか。
F委員	第一次審査の際の講評は第二次審査の対象事業者には開示されないということか。

事務局	お見込みのとおり。
委員長 全委員	追加資料の様式についてはいかがか。特になければ様式自由とする。 〈異議なし〉
委員長	その他に審議すべき事項、意見及び質問はあるか。特になければこれまでの審議内容について、まとめて事務局から説明をお願いしたい。
事務局	決定した第二次審査の進め方について説明 ・プレゼンテーションの方法は、事業者に一任 ・プレゼンテーションの条件は、施設長予定者含め3名以内の出席、プレゼンテーション10分、ヒアリング15分 ・追加資料は、様式自由
委員長 全委員	それでは、いただいた意見を踏まえ、本案を決定してよろしいか。 〈異議なし〉
事務局	【4 今後のスケジュール】 次回の選考委員会の日程等について説明
C委員	当日は第一次審査の際に自分が確認した資料を見ることはできるのか。
事務局	自身の資料を机上に用意する。
委員長	【5 閉会】 本日の委員会は以上をもって閉会する。

※委員長における質疑や講評等に関する発言については、「委員」として表記しています。

会議名	第3回港区立みなと芸術センター指定管理者候補者選考委員会
開催日時	令和6年12月24日(火曜日)午後5時から午後8時10分まで
開催場所	港区役所本庁舎9階 911会議室
委員	出席者 7名 岸委員長、山本副委員長、石田委員、小泉委員、田中委員、堀内委員、新宮委員 欠席者 なし
事務局	国際化・文化芸術担当、地域振興課みなと芸術センター整備担当
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及び質疑回答 4 第二次審査採点及び事業候補者の選考について 5 その他 6 閉会
配付資料	資料1 第3回港区立みなと芸術センター指定管理者候補者選考委員会タイムスケジュール 資料2-1 第二次審査 選考基準・採点表 (B事業者) 資料2-2 第二次審査 選考基準・採点表 (C事業者) 資料2-3 第二次審査 選考基準・採点表 (D事業者) 資料3 第二次審査評価用メモ 資料4 第一次審査・第二次審査集計結果 (※採点終了後、机上配付) 資料5 第2回港区立みなと芸術センター指定管理者候補者選考委員会会議録 参考資料 第一次審査集計結果
会議の内容	
委員長	【1 開会】 本委員会の開始に当たり、あらかじめ事務局から発言を求められている。
事務局	みなと芸術センターは区として初めての文化芸術の拠点となる施設であり、これまでに類を見ない特殊性の高い施設でもあることから、指定管理者の指定議案の提出に向けて、執行機関の責任者である区長として、選考過程を把握し、事業者の提案内容等の理解を深めるため、第二次審査を確認したい旨の申し出があり対応したい。
委員長 全委員	本件について、いかがか。 〈異議なし〉
事務局	【2 第二次審査実施概要について】 (資料1～3について説明)
G委員	【3 事業候補者によるプレゼンテーション及び質疑回答】 ■B事業者の質疑回答 入場料収入について、令和9年度は有料動員40%、10年度は有料動員50%というのはどのような考え方によるものか。

B事業者	管理運営計画の「試算の考え方」で「40%～60%で試算」と示されていたものを踏まえている。初年度から知名度を向上させ、事業を充実させる中で集客を増やしていこうという考えで手堅い数字を見込んだが、それ以上の収入があれば事業に還元することを考えている。
G委員	無料の招待等は念頭に置いているのか。
B事業者	無料の招待も考えているが、無料招待を踏まえて有料動員の数字を設定したわけではない。招待の実施方法は様々な形が想定されるが、招待をするのであれば全員無料の招待事業の実施を考えている。
A委員	提案事業だけではなく、区が「こういう事業を実施したい」と要望した場合、実施はしてもらえるか。
B事業者	そういった要望には応えたいと思っている。区と一緒に連携しながら作り上げていけたらいいと思う。運営の基本は様々な層との連携にあると考えている。例えば、障害者アートなどの実施場所など、区と連携する場面は多くある。
C委員	「区民とともにオープニングの企画を考える」とあったが、具体的にどのように区民意見を反映させるのか。
B事業者	事業の目的や区民の属性、出演者に応じて区民に声をかけ、連携していきたい。また、ニーズの把握は肝要で、活動とリンクして、調査機能を発揮しながらニーズを開拓したい。
F委員	区の文化芸術振興プランにも即し、バランスがとれている提案だと評価している。他方、職員配置のローテーションや現在の配置計画では、施設長の個人的なネットワークによるものが大きいと感じた。専門人材の確保の難しさを踏まえているとは言えるが、施設長に不測の事態があった場合、フォローする体制はどうなっているか。
B事業者	共同事業体を組んでおり多くの人材がいることから、構成団体を含めた団体内での代行により対応したい。人材の確保についても同様である。雇用条件の見直しや、既に抱えている職員の活用も含めて体制を構築する。
F委員	書類審査の段階では、魅力向上に資するような取組に具体性がほしいと感じていた。物販や自主事業等の取組は、みなど芸術センターのイメージアップにどう繋がるのか、考え方を説明していただきたい。
B事業者	長期的な視点でいうと、知っていただく・来ていただくことに重点を置いた。話題づくりの方法を強化することを基本としたい。飲食については、施設の機能上の制約があるので、地域の飲食店と連携した取組を考えている。グッズ販売のノウハウがあるので、

	様々な形を作っていく。また、誰もが知っている方による発信等も心がけていきたい。
D委員	調査研究事業が挙げられていることが非常に特徴的である。人材育成の機能も踏まえ、具体的なイメージを教えてください。
B事業者	管理運営計画でも調査研究事業は重点的に記載されており、ただの研究機関という意味での調査研究ではないと捉えている。日常的に業務に携わる現場スタッフも企画に関わり、地域の文化等について研究して事業化するほか、外部専門家の調査研究とも繋がっていききたい。
E委員	多角的な提案だった。区立施設の開館という点や民間施設との差別化も十分に勘案されている。指定期間10年という長期間の運営について、スケールメリットをどう生かすか。
B事業者	開館準備期間も含めると12年間を担えるのはメリットであると考えている。まず、雇用する職員の期間にメリットがある。事業についても、段階を踏んだ事業構築がしやすく、長期的な計画が立てられる。また、5年・10年の節目の年など、事業の目標が立てやすい。
E委員	人材起用について強調されていたが、ジェンダーバランスをどう意識するか。
B事業者	基本的な考え方として、ジェンダーバランスを確保し、ジェンダー以外の課題解決にも取り組む組織、施設でありたいと考えている。
	■C事業者の質疑回答
G委員	提案された指定管理料について、管理運営計画と乖離がある。提案額を区が出せない場合、提案された事業は実現できないということか。指定管理料を管理運営計画相当額とした場合、事業計画や人員配置はどう変わるのか。
C事業者	事業数、企画数については我々の理想を提案している。予算については、年度ごとに区とすり合わせて固めていくことになるが、事業数を調整して対応することになる。人員配置に変動はない。
A委員	提案事業だけではなく、区が「こういう事業を実施したい」と要望した場合、実施はしてもらえるか。
C事業者	応じたい。事業として何を作るかは区民のニーズを吸い上げている区の職員と一緒に行うというのが大前提であると考えている。
D委員	主催事業の大型公演の提案で、1公演・1億6千万円を経費とし、10%をチケット収入としているが適正な割合と考えているか。また、舞台技術者8名程度で回し、外部委託はしない計画と見受けたが、それで間違いはないか。

C事業者	舞台技術者については、現在は提案した内容のとおり考えている。他に外部のアドバイザーとして専門家を登用することを検討している。収支については、区との協議と考えている。広く区民に参加を募りたいので、あえて低額の料金で設定している。これについてはもっと利益率を上げるべきであれば再考するので、柔軟に考えていきたい。
C委員	どれくらい実現の可能性のある事業数なのか。実際、資料にあるアマチュア社会人吹奏楽団の写真があるが、御社で実施しているのか。
C事業者	アマチュア社会人吹奏楽団は、既に関わったことのある楽団の写真を掲載した。事業の規模については、みなとシンフォニーは、30公演としており、この提案は多いと感じている。予算に応じて、公演回数の調整をしたい。多く提案した意図としては、障害者の方や車椅子を使用するような層に来てもらいたいと考えており、そのためには公演数を増やすしかないと考えている。当然予算に限りがあることは理解しているので、その範囲内で考えていきたい。
E委員	最大限のプランと理解した。費用面で、資金・収支計画の様式10の中での本部経費が明らかに高額で積算されていると思うが、指定管理料が減った場合、この費用を減らすことを考えているか。
C事業者	本部経費については、各構成企業として事業費の5～20%程度の設定としている。事業数を減らして事業費を縮減したとしても、各社最低1名は本部からの人員が必要であり、制作等の運営を支えていくためのコストがかかる。毎年の予算については区と調整していく。
F委員	丁寧に作りこまれているとの印象である。書類審査の際は中小企業との連携など、評価できる提案が多かった。「誰一人取り残さない」をキーワードとしたとき、分かりやすい社会的弱者だけでなく、様々な区民にどうアプローチしていくか、もう少し掘り下げて話を聞きたい。アウトリーチや区民参加などについては、予算を削るときに対象になりがちな箇所であるので、どう予算の折り合いをつけるかを説明してほしい。
C事業者	みなと芸術祭は、「普通の区民」が輝いてほしいと考えている。予算を縮小したとしても、区民参加の部分を減らすわけではない。3年後の開設を目指し、港区に転入してくる新しい区民と既存の区民が文化芸術で融合し、コミュニティをつくるというのが、重要だと考えている。みなと芸術センターは、浜松町二丁目地区第一種市街地再開発事業の中にできるので、そのマンションの新しい住民と、地域の融合に取り組みたい。
G委員	<p>■D事業者の質疑回答</p> <p>資金・収支計画で指定管理料以外に入場料や寄附金等の収入を見込んでいるが、これらの収入が計画どおりにいかず、管理運営費が不足した場合はどう対応される認識か。</p>

D事業者	赤字を負っても十分に耐えうる企業である。資金・収支計画の年度ごとに見直していきたいと考えている。
G委員	令和10年度の講座事業以外の日数を足し上げると、166日になるが、区民への貸出はどのように想定しているか。
D事業者	貸出期間をまとめて設定した。また、興行が入らないところを区民利用とするなどして全体スケジュールを考えている。
A委員	提案事業だけではなく、区が「こういう事業を実施したい」と要望した場合、実施はしてもらえるか。
D事業者	区と協議しながら検討したい。
C委員	企画はワクワクするものが多いと感じている。アウトリーチとどのように関連付けていくのか教えてほしい。
D事業者	アウトリーチは、制作に関係しているアーティストが担い、連関していくのがいいと考えており、若手の人材育成にもつなげていく。
D委員	追加資料の中で、自主制作と提携事業とそれぞれどういう事業を想定しているか。
D事業者	自主制作は創作、提携事業は買い取り公演と大別している。
D委員	ダイバーシティや共生社会の実現に向け、みなと芸術センターはどのような取組や役割を担っていくか。
D事業者	来館者の立場に立ったスタッフの配置や、字幕、音声ガイドなどの取組を推進していきたい。
E委員	指定期間10年という長いスパンを捉えて計画されていると思うが、これはひとえに施設長の実績に伴うものが大きいと捉えた。施設長の後継者の育成はどう考えているか。
D事業者	10年後というよりは5年後として捉え、施設長は後ろに立ちながら、後継者の経験を積むような体制としたい。
E委員	みなと芸術センターという劇場をどのように捉えて、実施事業を構成したのか。セリフがよく伝わるのと音を響かせるのとでは、性質として異なると考えるがいかがか。
D事業者	現時点においては、管理運営計画などから、演劇を中心とした劇場と捉え、そのような構成にした。場所柄から見ても演劇の拠点としてふさわしいと考えている。実際に音も

	素晴らしければ、音楽にも力を入れていきたい。
F委員	みなと芸術センターは、日本の文化政策関係者や芸術文化関係者から注目を集める施設であり、これからの公共劇場の在り方が問われる。その点で地域の住民との共創や連携がポイントとなってくる。その考え方を知りたい。
D事業者	基礎自治体の劇場ゆえに利用者の顔が見えるのがポイントと考えている。配置されるスタッフとともに地域と連携する劇場づくりや、他の公共劇場に比べてアクセスしやすい利点を踏まえ、公演のレパートリーを展開したい。また、区民が制作に関わる事業を構築したい。
B委員	海外発信、世界への発信について具体的なイメージがほしい。費用負担も踏まえて知りたい。また、危機管理体制の中で、組織体制の総務部門が弱いような印象を受けた。
D事業者	自主事業を海外に持っていきたいと思っている。パリ15区のパリ日本文化会館と連携し、そこからパリの一流の劇場に発信していきたいと考えている。また、ニューヨークの劇場とのネットワークやアジアの劇場との連携を視野に入れている。費用負担については助成金やスポンサーの他、相手方の応分の負担を考えている。 総務部門については、各構成企業の本社機能を活用した上で、総務・経理の作業部分は本社が実施する体制とし、劇場の運営に集中していく。
	<p>【4 第二次審査採点及び事業候補者の選考について】</p> <p>採点集計の結果について、事務局から説明</p> <p>B事業者 第一次審査 1,137点、第二次審査 600点、合計 1,737点</p> <p>C事業者 第一次審査 980点、第二次審査 431点、合計 1,411点</p> <p>D事業者 第一次審査 987点、第二次審査 541点、合計 1,528点</p>
委員長	採点の結果について、各委員から順に講評をお願いしたい。
G委員	<p>・ア 施設運営の考え方について</p> <p>B事業者は、区民利用について考えがしっかりしている。みなと芸術センターに来られない方など様々な方に合わせた事業を考えている。C事業者は、公演内容は素晴らしいが、区民とともにという部分が感じられなかった。D事業者も公演内容は素晴らしかったが、事業が公演を中心に構成されていることに加え、区民への貸出を限定していることから、区民とともにという点が弱かった。</p>
A委員	B事業者は、区の課題をよく認識していることが分かった。C事業者は、組織体制やノウハウは良かったが、区民の視点が伝わってこなかった。D事業者は、みなと芸術センターの基本理念を理解しており、それを実現するために全ての事業があるという点は非常によく計画されているが、港区の公共施設という視点が弱かった。
C委員	B事業者は、基本理念をよく理解していると感じた。C事業者は、区民の視点が欠けて

	<p>いる提案と感じた。D事業者は、魅力的な提案がなされている一方で、みなと芸術センターの基本理念とは異なる部分も感じた。</p>
F委員	<p>B事業者は、本施設に求められる様々な役割についてバランスが取れた計画であると思う。ただ、トップダウン的でバックアップ体制に課題が残るが、総合的に見ると高い基準に達している。C事業者は、全体的に運営費が高額であり、どの部分を削減するかという質問に対して、明確には答えてもらえず不安が残った。D事業者は、エンターテインメント寄りの内容で面白く思える一方で、公金支出による幅広い区民への配慮という点で公共施設に求める役割について不足する部分があると感じた。</p>
E委員	<p>B事業者は、区が求める本施設の役割をきちんと把握していると感じた。C事業者は、区との連携について適切なコミュニケーションが図られるのかという点で不安である。D事業者は、魅力的な公演内容が提示されているが、外部貸出に関する視点が弱いのではないかと感じられた。</p>
D委員	<p>B事業者は、十分に設置条例や公募要項等を読み込んでいて、それを反映した計画を立てているという印象を持った。C事業者は、共生社会を目指すプラットフォームとしての運営計画として、どのような施設にしたいのか見えてこなかった。D事業者は、公演の施設としてはよく考えられている。ただ、公演をするだけではない、施設のその他の機能・側面について少し物足りないところがあった。</p> <p>B事業者について、私の「項目ア」の加点前の点数が4ではなく5、「項目イ」の点数が5ではなく4なので訂正いただきたい。</p>
B委員	<p>B事業者は、管理運営計画等をよく読みこんでいて目配りのきいた体制が整えられている。C事業者は、舞台技術者をはじめ、スタッフの人員配置に不安が残る。D事業者は、バックオフィスについて本社が引き受けるというのはいかがなものかと考える。</p>
G委員	<p>・イ 事業計画の実現性について</p> <p>B事業者は、現実的な考え方をしている。まずは区民に知ってもらうことを中心に進めていきたいというところや10年間の指定期間のメリットとして、雇用の安定や事業計画を立てるといいうところも感じられた。C事業者は、あくまでも理想の提案で、予算に合わせて事業を縮小するという点で実現性の低さが感じられた。D事業者は、事業提案は具体的であったが、区の施設としてここまでやる必要があるのか。赤字をのみ込めるという話も疑問に感じられた。</p>
A委員	<p>B事業者は、実現性の高い提案となっており、障害者アートと連携する提案もよい。C事業者は、多様な事業を提案しているが、指定管理料の関係で削る事業があるという発言もあり、実現性が乏しいのではないかと。D事業者は、事業提案が魅力的で、施設長予定者を通じて豊富な人材が獲得できるのではないかと。</p>
C委員	<p>B事業者は、突出して魅力的な事業には見えにくいですが、区民と協働するという点も反映されていた。C事業者は、どこまでが理想としての提案かが不明であり、実現性が低い</p>

	<p>と感じた。また、発言からアウトリーチを軽視しているのではと感じるところもあった。D事業者は、魅力的な公演提案であり、鑑賞型の劇場としてはよいと思う。ただ、区民が参加するという点は不明であり、公立施設として本施設で求められているものなのかは疑問に感じる。</p>
F委員	<p>B事業者は、港区で区民とともに、文化芸術活動やスポーツ、健康増進事業等、多様な活動を実施してきた経験実績がある。一方で、障害者や意欲ある区民以外へのアプローチについてももっと聞きたかった。C事業者は、人員計画と事業の整合性、専門人材のリクルーティングをどうするか不明だったので不安になった。D事業者は、地域や区民との協働、人材育成に関する提案が限定的であった。</p>
E委員	<p>B事業者は、多様性や共生社会等の目線を特に大事にしていると感じられた。ただ、指定期間の10年というスケールメリットへの意識がもっと高い方がいいのではないか。C事業者は、実現性に疑問が残るが、実現できれば素晴らしい。D事業者は、10年間のプロジェクトが強みだと思し、実績に基づいた提案となっているが、共生社会への言及が乏しかった。</p>
D委員	<p>B事業者は、地に足の着いた実現性の高い構想である。指定期間10年の構想で言う時代に合わせて変化していける余地を感じたという側面もあり、肯定的な面も感じた。C事業者は、話を聞けば聞くほど具体性に欠ける点が浮き彫りになった。D事業者は、魅力的かつ一定の実現性がある計画だと感じたが、特に気になったのは入場料収入の割合が高い点である。この比率を維持するためには相当に商業的に運営していかないと難しいと思う。計画自体は魅力的に感じた。</p>
B委員	<p>B事業者は、一見派手さはないが区民目線で地に足のついた提案だった。C事業者は、企画の実現性に疑問を抱いた。D事業者は、具体的な公演企画だと思う。世界への発信は言葉としては美しいが、助成金を取るにしても、採算の部分で疑問に感じた。</p>
G委員	<p>・ウ 運営への意欲・信頼性・誠実さについて</p> <p>B事業者は、施設長予定者が管理運営計画をしっかりと理解した上で質問に対して丁寧に答えてくれたので、みなと芸術センターに対する思いも感じられた。C事業者は、熱意が感じられたが、質疑について施設長予定者が答えていない点で不安が残った。D事業者は、施設長予定者が優秀だと感じた。総務・経理の作業部分は本社が実施する体制としているが、現場ではなく本社がやるということは、区と指定管理者との連携という意味では難しい気がした。</p>
A委員	<p>B事業者は、施設長予定者が質問に対して誠実に答えるなど、構成事業者を含め意欲を感じた。C事業者は、施設長予定者が質問に答えておらず意欲が伝わらなかった。D事業者は、質疑応答を通じ熱意が一番伝わった。</p>
C委員	<p>B事業者は、信頼できるし誠実さを感じた。C事業者は、施設長予定者がずっと原稿を読んでいるだけで、質問にも答えていないのでどこまで関わってくれるのか疑問に思</p>

	った。D事業者は熱意が感じられたが、「港区ならでは」という視点がなかった。
F委員	全体としてはB・C・D事業者とも熱意を感じた。その熱意を裏付けるものがあつたかどうかは別の項目で採点することとしたい。
E委員	B事業者は、信頼性、誠実さを高く感じた。C事業者は、特に具体的な紐づけがなく費用の積算根拠が不透明である。D事業者は、事業計画との均衡が課題となるが、ローテーション表の提供がなかったことなど、運営に関する意識の低さが感じられた。
D委員	B事業者は、構成団体の方も発言し、共同事業体として誠意と熱意を素直に感じた。C事業者は、区からの要望があれば、と受け身の姿勢が気になり、最適な施設運営をデザインするという自覚に欠ける印象を受けた。D事業者は、熱意を感じたが、事業に軸足があり、施設としてどうあるべきかが感じられなかった。
B委員	他の委員と同様であるが、全ての受け答えについて意欲的であったB事業者の加点前の評価を5とした。
委員長	C事業者のこの項目は、F委員が加点前の評価を5、A委員が2とし、点数の差が生じているため、意見交換の上、修正があるかをお伺いしたい。
A委員	このままの点数とさせていただきます。
F委員	私もこの点数とさせていただきます。
	・エ 安全対策及び危機管理体制について
G委員	B事業者は、施設長に不測の事態があつた場合、構成団体を含めた団体内での代行により対応するという発言があり、構成団体の豊富なノウハウで安全・危機管理対策への備えを確認できたため4とした。C及びD事業者は、プレゼンテーションにおいては特に言及がなかったため3としたが、D事業者については、夜間に都度連絡責任者が替わるということで、管理運営上、不安が残る。
A委員	第一次審査と特に変わりはない。3者とも第一次審査の項番6と同様の評価とした。
C委員	どの事業者も、安全対策及び危機管理体制については、応募書類で一定程度の記載はされていたと思う。その上でB事業者については加点前の評価を4とし、C事業者については他の資料の実現性の観点もあり3とした。D事業者については、第一次審査の時にハラスメントに対する記載がなかったため、今日質問をするつもりだったが時間の制約もあり見送った。書類でもプレゼンでもハラスメントについての言及がなかったことから3と評価した。
F委員	第一次審査と特に変わりはない。3者とも第一次審査の項番6と同様にC事業者

	を若干減点とした。
E委員	第一次審査と特に変わりはない。3者とも第一次審査の項番6と同様の評価とした。
D委員	概ね第一次審査と同様の印象であった。C事業者は、共同事業体の構成団体が多く、意思疎通や具体的な対策の構築に不安を感じる。B事業者は、シンプルな体制でそれぞれの得意分野を明確にしており、安全対策としてプラスに作用するという印象を抱いた。
B委員	第一次審査と特に変わりはない。3者とも第一次審査の項番6と同様の評価とした。
	■第一次審査及び第二次審査の総評
G委員	B事業者は、派手さはないが区民の目線に立った堅実な提案である。C事業者は、理想に終始しており、提案の仕方として疑問が残った。D事業者は、興味深い公演内容であったが、区とともに取り組む視点から評価すると弱さを感じた。
A委員	B事業者は、区の目指す方向性をよく理解していて、堅実で手堅く実現性が高い提案であった。C事業者は、意欲は感じたが、資金・収支計画における事業費が高額であり、金額を減らすと事業が縮減していくとのことだったので、評価が低くなった。D事業者は、高齢者、障害者への配慮を高く評価した。
C委員	B事業者は、みなと芸術センターの基本理念や求められているものに誠実に応えようとしている。C事業者は、指定管理料が高額であること、実現性の低さが感じられる。D事業者は、魅力的な提案内容であったが、公共の劇場として本施設に求められている内容なのか疑問に感じた。
F委員	40年前であればD事業者が残ると思う。ただ、B事業者は港区で先進的な公立文化施設を整備する際に求められる視点を十分盛り込んで総合的に考えたところが、高く点数を付けた大きなポイントである。他方で、C・D事業者の視点も重要なのがあると思っていて、B事業者の内容が区民に伝わりやすいと言われると、疑問に思う部分もある。C事業者やD事業者の視点も、B事業者が選ばれた場合には反映して考えていただきたいと思った。
E委員	B事業者は、バランスが取れているに尽きる。C事業者は、プレゼンテーションから実現可能性の低さが露呈し残念であった。D事業者のような提案があったのは評価したい。これぐらいの発想が実現可能な施設であることを区として受け止めて取り入れてほしい。B事業者とD事業者の差は、さほどないと評価した。
D委員	大型で高い収益性を前提とし興行的な側面を強く持つ事業を主にするのは、この施設の整備の経緯とは相容れない。これからの公立施設の在り方を問われたときに、その点に最も目を向けていたのはB事業者であると感じた。

B委員	D事業者は港区の地域性、特殊性に目を向ければ、実現できないことではない。ただ、自治体の整備した施設の方向性が問われている中で、B事業者は、みなと芸術センターという区の施設であることを踏まえながら、自治体の新たな施設としての方向性を示していると評価した。
委員長	意見交換を踏まえ、ご自身の採点を変更する方はいるか。 <点数修正なし>
事務局	D委員の点数修正があったため、改めて、集計の結果を事務局から説明。 B事業者 第二次審査 599点、一次審査との合計 1,736点 C事業者 第二次審査 431点、一次審査との合計 1,411点 D事業者 第二次審査 541点、一次審査との合計 1,528点 一位はB事業者となる。
委員長	審査結果や各委員のご意見を総括し、当委員会としては、B事業者を事業候補者とする こととしたいが、よろしいか。
全委員	<異議なし>
事務局	【5 その他】 本日決定した事業候補者について、港区指定管理者選定委員会の審議を経た上で、指定 管理者候補者として選定し、令和7年第1回港区議会定例会に指定議案を提出する。
委員長	【6 閉会】 本日の委員会は以上をもって閉会する。

※委員長における質疑や講評等に関する発言については、「委員」として表記しています。